



### 経皮腹壁的PEGキット(交換用バンパーカテーテルガイドワイヤーセット)

医療機器承認番号 21700BZZ00153000

サイズ呼称	品目コード	サイズ(外径-内径)	カテーテル長	仕様	JANコード
18Fr	800 000 8217	6.0-3.7mm	176mm	<ul style="list-style-type: none"> <li>バンパー部(造影性有り)</li> <li>バンパー接合部から2~10cmまで1cm間隔のデプスマーク</li> <li>先端開孔、側孔無し</li> </ul>	4542187139082
20Fr	800 000 8218	6.6-4.1mm			4542187139099
24Fr	800 001 4652	8.0-4.9mm			4542187203233

1セット/箱・EOG滅菌済

### 付属品

ガイドワイヤー	外径:0.89mm(0.035") 全長:800mm 仕様:固定式ストレート(先端軟化型) 数量:1本
バンパー挿入用補助具	数量:1本
クランプ	仕様:着脱可能 数量:1個

- 弊社は常に研究開発を行っておりますので、予告なしに製品仕様の一部を変更する場合があります。予めご了承ください。  
 ご使用にあたっては、必ず添付文書をご一読ください。  
 交換用バンパーカテーテルガイドワイヤーセットの製品開発にあたりましては、ふきあげ内科胃腸科クリニック 院長 蟹江治郎 先生のご指導・技術提供をいただきました。


**クリエートメディック株式会社**  
CREATE MEDIC

本社 横浜市都筑区茅ヶ崎南2-5-25  
 ホームページ <http://www.createmedic.co.jp>

CLINY

## 経皮腹壁的PEGキット

(交換用バンパーカテーテルガイドワイヤーセット)

医療機器承認番号 21700BZZ00153000

「安全なカテーテル交換」をコンセプトに開発されたガイドワイヤー付交換用バンパー型カテーテルに24Frサイズがラインナップ追加されました

クランプ付



  
 医療事故対策適合品

  
CREATE MEDIC

CREATE MEDIC CO.,LTD.

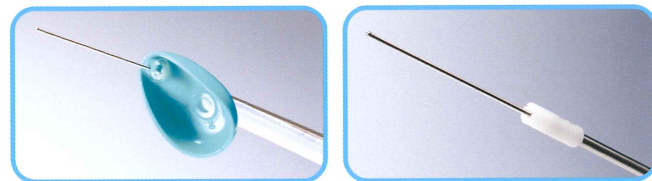
# 「安全なカテーテル交換」をコンセプトに開発された ガイドワイヤー付交換用バンパー型カテーテル

付属のガイドワイヤーを併用することでカテーテル交換時における  
腹腔内誤挿入のリスクを低減させます。



## バンパー挿入用補助具

ガイドワイヤーが通過可能なバンパー挿入用補助具により、ガイドワイヤーに沿わせて直線的にカテーテルを胃内に挿入することができます。



## クランプ

付属のクランプを使用することで、カテーテルのキャップを開放した時でも胃内容物などの逆流による漏れを防ぎます。



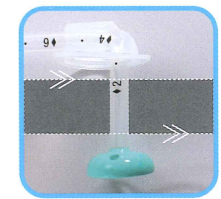
## 内腔の広いカテーテル

内腔が広く、チューブとファネル部に段差が無いので半固形化栄養剤の投与がしやすくなっております。



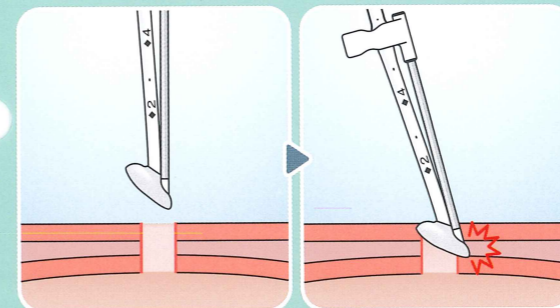
## 固定板

固定板は体表部に沿わせて平行にカテーテルを固定することができます。

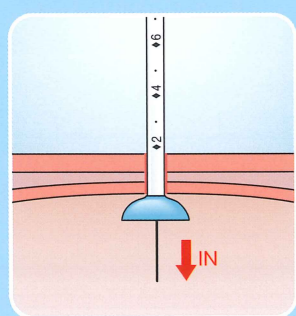


## ガイドワイヤーを併用しない製品の場合

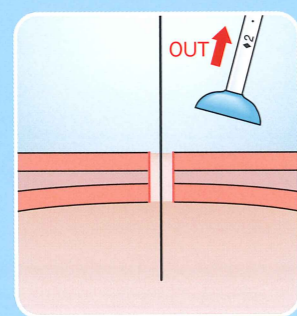
ガイドワイヤーを併用しないと、腹腔内へのカテーテル誤挿入の危険性があります。



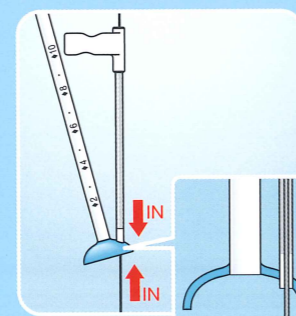
## ■ 手技手順



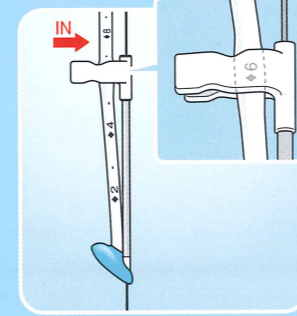
1 既に留置されているカテーテルに付属のガイドワイヤーを胃内まで挿入します。



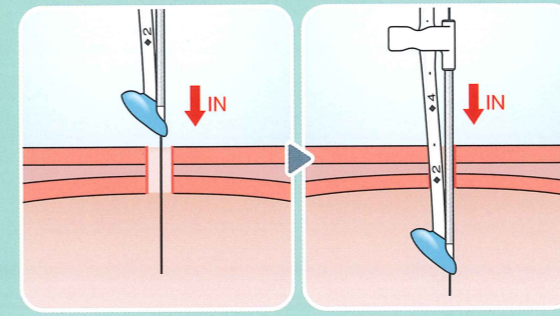
2 ガイドワイヤーが抜けないように注意しながら、カテーテルを抜去します。



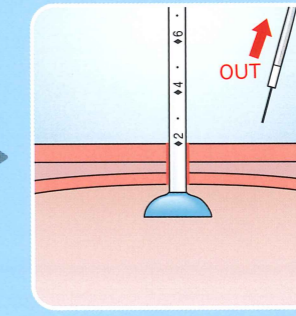
3 ガイドワイヤーにカテーテルバンパー部とバンパー挿入用補助具を挿入しセットします。



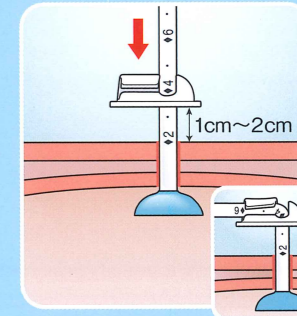
4 カテーテルチューブ部の目盛6の位置が把持部の下部にくる位に引き伸ばして、挿入用補助具の把持部の隙間に挟み込みチューブを指で押さえます。



5 ガイドワイヤーが歪んだり脱落しないように、片方の手で挿入用補助具から出ているガイドワイヤーを保持しながらガイドワイヤーに沿わせて、バンパーを伸張させた状態で胃内に挿入します。



6 挿入用補助具とガイドワイヤーを静かに引き抜きます。



7 バンパーが胃前壁に軽く接触する程度に牽引して、固定板を腹壁側に移動します。